

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成17年度		根拠法令・例規等	備前市公有財産規則
事業開始年度				問 担当課(室)	財政課
総合計画	大項目 基本目標	06	健全で自立したまちづくり	合先 職・氏名	財産管理係長 河井 健治
計画	中項目 基本施策	01	簡素で効率的な行政運営	電 話	0869-64-1811
	小項目 施策	12	その他事務管理(財産管理)	このシート作成に要した時間 1.5 時間	
事務事業名		01	庁舎維持管理事業		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	来庁者、職員	
目的(何のために)	本庁舎、分庁舎、保健センター等の適切な維持管理を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	良好な職場環境を維持しつつコスト縮減に取り組む。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	庁舎維持管理業務	電気代削減のため、デマンド管理を行い消費電力の削減に努めました。	
	清掃業務	職員による日常清掃を併せて、業者によるワックス、窓ガラス業務を行い、経費の削減を続けています。	
	補修業務	自動ドア等の修繕ほか、老朽箇所の修繕を行いました。	
	共済業務	庁舎等の保険加入に関する業務を行いました。	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	直接事業費	千円	67,898	26,304	26,112	
	必要人員(人)	千円	0.46人	3,850	3,476	4,553
	事業費	千円	71,748	29,780	30,665	
	事業費	千円	36,901			
結果指標	国庫支出金	千円				
	受益者負担	千円				
	繰入金	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円		246	366	
一般財源	千円	34,847	29,534	30,299		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		
経常経費	説明	老朽化した庁舎の維持管理経費の実績				
結果指標量	千円	23,908	25,317	26,112		
対前年比	%	-	105.9%	103.1%		
活動コスト	円	71,748,000	29,778,000	30,359,000		
単位当たりコスト	円	3,001	1,176	1,163		

事業の成果						(平成24年度事業)
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値	
維持管理コスト	目標値(A)	4,500	4,000	4,000	4,000	
	実績値(B)	3,708	3,927	4,050	到達目標値	
	達成率(B/A)	82.40%	98.18%	101.25%	3,500	
成果指標設定の考え方・式や説明						
庁舎維持管理コストを算出することで、経常経費の削減を図る。(経常経費/延床面積6,448㎡)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	市役所庁舎を良好に維持管理するために、些細な部分まで気を配るように努めるとともに、適宜補修を行う。						

総合評価		総合評価
継続したコスト削減に取り組みながら、老朽化した庁舎をいかに良好な状態で保てることができるかが課題です。限られた修繕費の中で効果的に修繕を行いながら良好な環境を維持していきます。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	庁舎の耐震化を検討する必要があることから、安全な庁舎を目指すために様々な手法を考慮して検討を行います。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな